2025年（令和7年）第4回総会議事録

- 1 告示年月日 2025年（令和7年）4月16日（水）
- 2 通知年月日 2025年（令和7年）4月16日（水）
- 3 開催年月日 2025年（令和7年）4月30日（水）
- 4 開催場所 福山市東桜町3番5号
福山市役所 3階 小会議室

- 5 付議事項
 - 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請に対する処分決定について
 - 議案第2号 農地法第5条の規定による許可申請に対する処分決定について
 - 議案第3号 非農地証明について
 - 議案第4号 2024年度（令和6年度）福山市農業委員会活動報告について
 - 議案第5号 令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表（案）について
 - 議案第6号 2025年度（令和7年度）福山市農業委員会活動計画（案）について
 - 議案第7号 令和7年度最適化活動の目標の設定等（案）について

- 6 報告事項
 - (1) 農地法等に関わる専決処分・届出等について
 - (2) 2024年度（令和6年度）農業委員会互助会収支決算報告

- 7 出席委員

1番 佐藤 眞子	2番 土屋 智樹	3番 沖 賢二	4番 野田 幸男
5番 寶諸 孝也	6番 佐藤 泰造		8番 石井 洋子
9番 岡本 卓也	10番 安原 理雄	11番 能宗 秀典	12番 下江 京子
13番 山本 明	14番 須藤 薫雄	15番 谷本 耕造	

- 8 欠席委員
 - 7番 小林 輝仁

- 9 その他の出席者
 - 0名

- 10 事務局出席職員等

事務局長	林 茂晃	事務局次長	杉原 信広
事務局	和田 奈津美	松永出張所	花田 宏
北部出張所	藤井 勝俊	神辺出張所	板谷 浩司
沼隈出張所	鈴木 裕	以上	7名

1 1 議事内容
午前10時00分

事務局長	定刻になりましたので、ただいまから2025年（令和7年）第4回福山市農業委員会総会を開会いたします。 谷本会長、会議の進行をお願いします。
会 長	— 開会挨拶 —
会 長	それでは、会議規則第3条の規定によりまして議長を務めさせていただきます。
議 長	最初に、総会の成立を申し上げます。
議 長	委員総数15名のうち、 出席委員 14名、欠席委員 1名、在任委員の過半が出席ですので、本会議は成立します。
議 長	続いて、会議規則第10条の規定により、議事録署名委員の指名を行いません。 議席番号 6番 佐藤泰三（さとう たいぞう）委員と 議席番号 13番 山本明（やまもと あきら）委員をお願いします。
議 長	議事に入る前に、議案の訂正等があれば、事務局より説明してください。
事務局	2025年（令和7年）第4回総会議案書追加及び訂正事項等について説明します。 まず、議案書に議案第8号「農地の転用事実に関する照会に対する回答について」を追加とし、これに伴い議案書次第の4議事欄について議案第8号「農地の転用事実に関する照会に対する回答について」を追加します。 次に議案書別冊4ページ16番について取り下げ。 次に議案書7ページ5番について取り下げ、これに伴い議案書次第の4議事欄、議案書2ページの議案第2号並びに議案書別冊目次、7ページの議題欄について「農地法第5条の規定による許可申請に対する処分及び意見決

事務局 (つづき)	<p>定について」を「農地法第5条の規定による許可申請に対する処分決定について」に訂正となります。</p> <p>追加・訂正事項等は以上となります。</p>
議 長	<p>議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請に対する処分決定について」を上程します。</p> <p>東部地区の報告をお願いします。</p>
委 員 1 番 佐藤	<p>東部地区の審議内容について、報告します。</p> <p>東部地区では、4月24日の午前8時50分からの現地調査に続き、午前11時から市役所 3階 小会議室で協議会を開催しました。</p> <p>委員7名中 6名の出席により、議案第1号3件、議案第2号2件、議案第3号1件、合計6件について審議しました。</p> <p>それでは、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請に対する処分決定について」の1番から3番について報告します。</p> <p>1番は、幕山台の受人が、大門町の渡人から申請地の持分贈与を受けるものです。受人の持分は、6分の1から6分の3となります。</p> <p>2番は、坪生町の受人が、同町の渡人から申請地を譲り受け、新規就農するものです。</p> <p>3番は、御幸町の受人が、東京都三鷹市の渡人から申請地を譲り受け、経営規模を拡大するものです。</p> <p>いずれも、受人及び申請農地、営農計画に問題はなく、許可妥当と判断しました。以上です。</p>
議 長	<p>西部地区の報告をお願いします。</p>
委 員 4 番 野田	<p>西部地区の審議内容について、報告します。</p> <p>西部地区では、4月25日の午後12時45分からの現地調査に続き、午後4時から市役所 3階 小会議室で協議会を開催しました。</p> <p>委員10名中10名の出席により、議案第1号6件、議案第2号2件、議案第3号6件、合計14件について審議しました。</p> <p>それでは、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請に対する処分</p>

決定について」の4番から9番について報告します。

4番は、沖野上町の受人が、南手城町の渡人から申請地を譲り受け、経営規模拡大するものです。

5番は、沼隈町の受人が、新市町の渡人から申請地を譲り受け、新規就農するものです。

6番は、田尻町の受人が、同町の渡人から申請地を譲り受け、経営規模を拡大するものです。

7番は、名古屋市昭和区の受人が、田尻町の渡人から申請地を譲り受け、経営規模を拡大するものです。

8番は、引野町の受人が、大阪市住之江区の渡人から申請地を譲り受け、新規就農するものです。

9番は、内海町の受人が、大阪市北区の渡人から申請地を譲り受け、新規就農するものです。

いずれも、受人及び申請農地、営農計画に問題はなく、許可妥当と判断しました。以上です。

議長

松永地区の報告をお願いします。

委員

松永地区の審議内容について報告をします。

8番

松永地区では、4月25日の午前9時30分から関係者により現地調査を行い、午前10時30分から松永支所2階21会議室で協議会を開催しました。

石井

委員7名中6人の出席により、議案第1号5件、議案第3号1件、合計6件について審議いたしました。

それでは、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請に対する処分決定について」の10番から14番について報告します。

10番は、神村町の受人が、広島市の中国財務局から農地を譲り受けて新規就農し、野菜を栽培する計画です。

11番は、金江町の受人が、廿日市市の渡人から譲り受けて新規就農し、野菜を栽培する計画です。

12番は、兵庫県明石市の受人が、藤江町の渡人から譲り受けて新規就農し、野菜を栽培する計画です。受人の現住所は明石市ですが、受人の母親が

<p>議 長</p> <p>委 員</p> <p>10番</p> <p>安原</p>	<p>住む実家が藤江町にあり、普段の管理は母親が行い、受人は、休日等に帰省して耕作するという事です。</p> <p>13番は、藤江町の受人が、同町の渡人から譲り受けて経営規模を拡大し、野菜を栽培する計画です。</p> <p>14番は、柳津町の受人が、若松町の渡人から譲り受けて新規就農し、果樹を栽培する計画です。いずれも受人及び申請農地、営農計画に問題はなく、許可妥当と判断しました。以上です。</p> <p>北部地区の報告をお願いします。</p> <p>それでは、北部地区の審議内容について、報告します。</p> <p>北部地区では、4月25日の午後0時から関係者により、現地調査を行い、午後3時30分から北部支所3階の302会議室で協議会を開催しました。</p> <p>委員13名中12名の出席により、議案第1号5件、議案第3号3件、議案第8号1件、の合計9件について審議いたしました。</p> <p>それでは、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請に対する処分決定について」の4ページ16番を除く4ページ15番から5ページ20番について報告します。</p> <p>15番は、芦田町の受人が、令和7年7月31日までの利用権で同町の渡人から申請地を借り受けています。引き続き水稻を栽培するため、8月1日から期間の定めのない使用貸借権を設定するものです。</p> <p>16番は、4月24日に取り下げ願いが提出されております。</p> <p>17番は、加茂町の受人が、自宅裏の申請地を同町の渡人から譲り受けて、季節野菜を栽培し、経営規模を拡大するものです。</p> <p>18番は、駅家町の受人が、石田池の東にあたる申請地を同町の渡人から譲り受け、季節野菜を栽培し、経営規模を拡大するものです。</p> <p>19番は、駅家町の受人が、令和7年4月30日までの利用権で同町の渡人から申請地を借り受けています。引き続き水稻を耕作するため、5月1日から10年間の賃借権を設定するものです。</p> <p>5ページ20番は、尾道市西久保町の受人が東京都江東区(こうとうく)にすむ渡人から地元の土地建物を購入され、のちに新市に転入されます。申請地では、水稻や野菜を栽培し、新規就農するものです。</p>
--	--

	<p>以上、受人及び申請農地、営農計画に問題はなく、許可妥当と判断しました。以上です。</p>
議 長	<p>神辺地区の報告をお願いします。</p>
委 員 1 3 番 山本	<p>神辺地区の審議内容について報告します。</p> <p>神辺地区では、4月25日、午前9時から現地調査を行い、午前10時40分から、神辺支所2階21会議室において地区協議会員8名全員の出席により、議案第1号8件、第2号1件、議案第3号1件の合計10件について審議しました。</p> <p>なお、議案第2号の農地法第5条許可申請については、神辺地区農地調整協議会後に申請者より取下願が提出されたため、本議案から削除しております。</p> <p>それでは、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請に対する処分決定について」5ページ21番から6ページ28番について報告します。</p> <p>21番は、申請地の川南の畑1筆102㎡について、福岡県糟屋郡志免町<small>かすやぐんしめまち</small>の渡人から、弟である川南の受人が贈与により譲り受けて、野菜を栽培して経営規模拡大を図るものです。</p> <p>22番は、申請地の西中条の畑2筆計434㎡、湯野の田1筆1,710㎡、合計2,144㎡について、西中条の渡人から、同地区の受人が譲り受けて、畑では野菜を栽培し、田では水稻を耕作して、経営規模の拡大を図るものです。</p> <p>23番は、申請地の下竹田の田1筆830㎡について、三吉町南二丁目の渡人から、下竹田の受人が譲り受けて、水稻を耕作して経営規模の拡大を図るものです。</p> <p>24番は、申請地の下竹田の田1筆942㎡について、下竹田の渡人から、同地区の受人が譲り受けて、水稻を耕作して経営規模の拡大を図るものです。</p> <p>25番は、申請地の下竹田の田1筆503㎡について、井原市芳井町の渡人から、下竹田の受人が譲り受けて、畑として耕作し、野菜を栽培して経営規模の拡大を図るものです。</p> <p>26番は、申請地の下竹田の畑3筆計484㎡について、下竹田の渡人から、平野の受人が譲り受けて、野菜を栽培して新規就農をするものです。</p>

	<p>27番は、申請地の下御領の田1筆1, 048㎡について、下御領の渡人から、同地区の受人が譲り受けて、畑として耕作し、野菜を栽培して新規就農をするものです。</p> <p>28番は、申請地の下御領の田1筆392㎡について、下御領の渡人から、同地区の受人が譲り受けて、水稻を耕作して経営規模の拡大を図るものです。</p> <p>申請農地、営農計画に問題はなく、必要な農機具・労働力も確保されていることから、許可妥当と判断しました。以上です。</p>
議 長	事務局から補足説明等があればしてください。
事務局	議案第1号のすべての案件については、別紙調査書のとおり、借入後又は取得後の全ての農地を利用する計画であり、機械・労働力・技術などに問題はなく、農地法第3条第2項各号には該当せず、許可要件をすべて満たしています。説明は以上です。
議 長	これより質疑に入りますが、安原委員が関係する案件ですので、「農業委員会等に関する法律第31条」の議事参与の制限の規定により退席をお願いします。
委 員	(安原委員 退席)
議 長	これより質疑に入ります。 発言のある方は挙手をお願いします。
委 員	— 質問等なし —
議 長	質問等がないようですので、採決します。 議案第1号について、原案のとおり許可することに賛成の方は挙手をお願いします。
委 員	— 全 員 挙 手 —

議 長	全員挙手により、議案第1号は原案のとおり許可することに決定します。
議 長	採決が終わりましたので、安原委員は入室・ご着席ください。
委 員	(安原委員 着席)
議 長	次に、議案第2号「農地法第5条の規定による許可申請に対する処分決定について」を上程します。 東部地区の報告をお願いします。
委 員 1 番 佐藤	議案第2号「農地法第5条の規定による許可申請に対する処分及び意見決定について」の1番から2番について報告します。 1番は、駅家町の受人が、岡山市の渡人から申請地を譲り受け、露天資材置場として整備するものです。場所は、北消防署の北、約400メートルです。 2番は、木之庄町の受人が、岡山県笠岡市の渡人から申請地を譲り受け、露天資材置場として整備するものです。 場所は、千田小学校の南東、約900メートルです。 現地調査をしましたが、いずれも、周辺の営農条件に支障を生じるおそれもないことから、許可妥当と判断しました。以上です。
議 長	西部地区の報告をお願いします。
委 員 4 番 野田	議案第2号「農地法第5条の規定による許可申請に対する処分について」の3番と4番について報告します。 3番は、千田町の受人が、同町の渡人から申請地を使用貸借にて借り受け、住宅1棟を建築するものです。場所は、備後赤坂駅の南東に、約550メートルです。 4番は、神辺町の受人が、内海町の渡人から申請地を譲り受け、住宅1棟を建築するものです。場所は、内海大橋の南に、約650メートルです。 現地調査をしましたが、いずれも、周辺の営農条件に支障を生じるおそれもないことから、許可妥当と判断しました。以上です。

議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から補足説明等があればしてください。</p>
事務局	<p>議案第2号の案件のすべての案件については、農用地区域内農地、甲種農地、第1種農地、第3種農地に近接する区域その他市街地化が見込まれる区域内にある第2種農地及び第3種農地のいずれにも該当しない農地と認められるため、その他の農地である第2種農地として判断されます。</p> <p>別紙、農地転用許可申請に係る調査書のとおり、農地転用許可基準の要件を満たしており、申請は、適正かつ適法であり、事業規模からみて適切な面積で、周辺の営農状況に支障を生じるおそれもないと認められます。</p> <p>また、議案第2号に常設審議委員会への意見聴取案件はありません。</p> <p>補足説明は以上です。</p>
議 長	<p>これより質疑に入ります。</p> <p>発言のある方は挙手をお願いします。</p>
委 員	<p>— 質問等なし —</p>
議 長	<p>質問等がないようですので、採決します。</p> <p>議案第2号について、原案のとおり許可することに賛成の方は挙手をお願いします。</p>
委 員	<p>— 全 員 挙 手 —</p>
議 長	<p>全員挙手により、議案第2号は原案のとおり許可することに決定します。</p>
議 長	<p>次に、議案第3号「非農地証明について」を上程します。</p> <p>東部地区の報告をお願いします。</p>
委 員 1 番 佐藤	<p>議案第3号「非農地証明について」の1番について報告します。</p> <p>1番は、草戸町の申請人が、昭和27年から住宅敷地として利用し、現在に至っております。場所は、坪生公民館の南西、約400メートルです。</p> <p>現地調査をしましたが、農地性がなく、農地への復元も困難であり、証</p>

	<p>明妥当と判断しました。以上です。</p>
議 長	<p>西部地区の報告をお願いします。</p>
委 員	<p>議案第3号「非農地証明について」の2番から7番について報告します。</p>
4番	<p>2番から4番は関連案件です。平成12年以前より店舗用の駐車場として</p>
野田	<p>利用し、現在に至っています。場所は、福山市立済美中学校の南東に、約500メートルです。</p> <p>5番は、田尻町の申請人が、昭和40年4月頃より耕作放棄していたところ、山林となっています。場所は、福山市立高島小学校から南西に、約500メートルです。</p> <p>6番は、田尻町の申請人が、昭和50年4月頃より耕作放棄していたところ、雑木等が繁茂し山林となっています。場所は、福山市立高島小学校から南西に、約1,600メートルです。</p> <p>7番は、東京都多摩市の申請人が、昭和62年5月頃より土蔵敷地として利用し、現在に至っています。場所は、福山市内浦分所から西に、約250メートルです。</p> <p>なお、5番の1筆は、農振農用地区域内の農地ではありますが、担当部局との調整は整っています。</p> <p>現地調査をしましたが、いずれも、農地性がなく、農地への復元も困難であり、証明妥当と判断しました。以上です。</p>
議 長	<p>松永地区の報告をお願いします。</p>
委 員	<p>議案第3号「非農地証明について」の8番について報告します。</p>
8番	<p>8番は、札幌市の申請人が、昭和41年頃から住宅敷地として使用していたものです。場所は、神村小学校から西へ約100メートルのところでは</p>
石井	<p>現地調査をしましたが、農地性がなく、農地への復元も困難であり、証明妥当と判断しました。</p>
議 長	<p>北部地区の報告をお願いします。</p>

<p>委員 10番 安原</p>	<p>それでは、議案第3号「農地法第5条の規定による許可申請に対する処分決定について」の8ページ5番及び6番について報告します。</p> <p>5番は、父の所有する田への進入路を設けるため、新市町の子が、同町の渡人から申請地を譲り受け、アスファルト舗装するものです。また、子が進入路を所有することについて、父の同意書の提出を受けています。</p> <p>場所は網引小学校の東500メートルの所です。</p> <p>6番は、所有権移転を伴う追認許可案件です。府中市鶉飼町の受人は申請地周辺でイチゴ農園を経営しています。新市町の渡人から、無断で設置している来園者用の露天駐車場と農業用倉庫を借り受けて、運営しています。この度、この農業用施設の適正化を図り、所有権移転を受けるものです。そのため、渡人から顛末書の提出を受けています。</p> <p>なお、農振農用地であるため、イチゴ農園の付帯施設として、用途区分変更がなされています。</p> <p>場所は網引小学校の北東500メートルの所です。</p> <p>以上、現地調査をしましたが、日照・排水等、周辺の営農条件に支障を生じるおそれもないと認められることから、許可妥当と判断しました。</p> <p>以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から補足説明等があればしてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>議案第3号の「6番」は、1種農地、農用地区域内農地ですが、農振法第8条第4項に規定される農用地利用計画の指定用地（農業用施設用地）として用途区分がされている案件です。</p> <p>その他の案件は、農用地区域内農地、甲種農地、第1種農地、第3種農地に近接する区域その他市街地化が見込まれる区域内にある第2種農地及び第3種農地のいずれにも該当しない農地と認められるため、その他の農地である第2種農地として判断されます。</p> <p>別紙、農地転用許可申請に係る調査書のとおり、農地転用許可基準の要件を満たしており、申請は、適正かつ適法であり、事業規模からみて適切な面積で、周辺の営農状況に支障を生じるおそれもないと認められます。また、議案第3号に常設審議委員会への意見聴取案件はありません。</p>

	説明は以上です。
議長	これより質疑に入ります。 発言のある方は挙手をお願いします。
委員	— 質問等なし —
議長	質問等がないようですので、採決します。 議案第3号について、原案のとおり許可することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	— 全員挙手 —
議長	全員挙手により、議案第3号は原案のとおり許可することに決定します。
議長	次に、議案第4号「2024年度（令和6年度）福山市農業委員会活動報告について」を上程します。 事務局から報告してください。
事務局	2024年度（令和6年度）福山市農業委員会活動について報告します。 資料の「2024年度（令和6年度）福山市農業委員会活動報告」に沿ってご説明いたします。 まず、1ページから2ページをご覧ください。 「I委員会活動」における「1会議」の「(1)総会」についてです。 昨年度は定例総会を12回、改選総会を1回の合計13回開催しております。 定例の総会では、主に農地法各号の規定による許可申請に対する処分ほか、諮問に対する答申などの案件について、また、改選総会では会長・会長職務代理の互選等、組織に関わる案件についてそれぞれご審議いただきました。 次に、「(2)の役員会」についてです。3ページ上段をご覧ください。 昨年度は、役員会を4回開催し、「農業委員会の活動」や「推進委員の辞任」、これに伴う募集選定などについてご協議いただきました。 次に、3ページ中段から4ページ上段の「2研修」についてです。 まず、「農地パトロール」関係として、5月を皮切りに7月～8月にパトロ

ール研修とタブレット端末の研修を実施いたしました。

また、11月には、島根県松江市における農林水産省中国四国農政局が整備している宍道湖西岸農地整備事業を視察研修を行い、委員の皆様の知見を深め、資質の向上に努めていただきました。

次に毎年12月に開催される尾道市でのブロック研修会では、「農業委員会をめぐる情勢」や「地域計画の策定状況」について研修していただきました。

続いて2025年1月には、広島法務局へ講師派遣を依頼しての「相続国庫帰属制度の概要について」や、株式会社スペースシフトからの「衛星画像を利用した新しい取り組み」の紹介などの委員全体研修を実施しています。

次に、「3関連諸会議等」についてです。4ページ中段から5ページをご覧ください。

(1) 広島県農業会議等主催の会議関係については、「農業委員会会長・事務局長会議」が年3回開催されており、農業委員会活動や中間管理機構との連携、地域計画の策定についての取り組みなどについて協議を行っています。広島県農業会議総会が第123回から第125回まで開催され、組織人事や事業実績・計画、収支など予算関連事案について審議がされました。

また、5月と11月には「全国農業委員会会長大会」が東京都において開催され、政策提案の決議をはじめ、本件選出国會議員への要請活動を行っています。

最後に、(2) 常設審議委員会です。

毎月18日に意見聴取案件に対する審議が行なわれており、会長が委員として出席されています。

また、説明案件がある場合は、説明者として事務局員も出席しています。

続いて「農地移動の実態」について、ご説明します。

配布資料の「2024年度（令和6年度）農地移動の実態」をご覧ください。

説明に入ります前に、資料の訂正・追加についてお願いします。

9ページの「農地転用集計表」転用制限の例外規定についてです。

1国・県の転用面積欄について、「田6，362平方メートル畑4，110平方メートル計10，472平方メートル」を「田8，166平方メートル畑7，425平方メートル計15，591平方メートル」に訂正。

2市の転用面積欄について「田5，427平方メートル畑2，230平方

メートル計7, 657平方メートル」を「田3, 834平方メートル畑1, 052平方メートル計4, 946平方メートル」に訂正。

また、3農業用施設欄については、「田379平方メートル、畑266平方メートル、計645平方メートル」を「田0平方メートル、畑185平方メートル、計185平方メートル」に訂正。

これに伴い転用制限の例外規定の合計面積について18, 774平方メートルを20, 722平方メートルに訂正します。

また、備考欄について、国・県の転用欄にある「砂防施設用地」を「急傾斜地施設用地」に訂正、また下段総計欄について「344, 722平方メートル」を「346, 670平方メートル」に訂正をお願いします。

また、14ページ農業経営基盤強化促進事業による農地中間管理事業について2024年度（R6年度）分として、件数19件、配分先11件、うち法人5件の追加をお願いします。

今回の追加・訂正事項について、改めて修正印刷ができ次第、委員の皆様にご配布させていただくこととしています。

それでは、説明に入ります。3ページをご覧ください。

農地法第4条の申請及び届出のまとめです。

市街化区域以外が18件で約0.81ヘクタール。市街化区域が77件で約3.64ヘクタールでした。

4ページ、5ページはそれぞれの用途別の転用状況ですのでご確認ください。

続いて6ページをご覧ください。

農地法第5条の申請及び届出のまとめです。

市街化区域以外が163件で約8.58ヘクタール。市街化区域が380件で約19.56ヘクタールでした。

権利の実態について、合計のうち、筆数79パーセント、面積84パーセントが「所有権移転」となっています。

7ページ、8ページはそれぞれの用途別転用状況ですのでご確認ください。

次に、10ページをご覧ください。転用の用途別状況では、「住宅」用地が最も多く約12.76ヘクタールで全体の約4割を占めています。また続いて露天駐車場や露天資材置き場などの「その他」、「他の建物施設」、「太陽

	<p>光発電設備」、「工場」の順となっています。</p> <p>11 ページは農地法第3条の許可申請をまとめています。 許可件数は305件で約29.27ヘクタールでした。 権利の実態については、筆数は約85パーセント、面積は約77パーセントが「所有権移転」となっています。</p> <p>13 ページは農業経営基盤強化促進事業による利用権設定の実績です。 件数は156件で、12月末時点の設定面積は213ヘクタールでした。</p> <p>14 ページは中間管理事業についての実績です。</p> <p>15 ページは、その他農業委員会で審議・報告した件数を取りまとめています。報告は以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの農業委員会活動報告について説明がありましたが、発言のある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>— 質問等なし —</p>
議長	<p>質問等がないようですので、採決します。</p> <p>議案第4号について、原案のとおり承認することに賛成の方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>— 全員挙手 —</p>
議長	<p>全員挙手により、議案第4号は原案のとおり承認されました。</p>
議長	<p>次に、議案第5号「令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表（案）について」を上程します。</p> <p>事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>資料の別紙様式5「令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表」をご覧ください。</p> <p>この取り組みは、農業委員会の運営の透明性を確保するため、全国の農業</p>

委員会で実施されているものです。

1 ページの「Ⅰ農業委員会の状況」については、令和6年4月1日現在の農業委員会の体制と市内の農家・農地の概要が記載されています。

認定農業者などの「農業の担い手」は、122経営体で、耕地面積は3,400ヘクタールです。

なお、表中に記載のある「総農家数」、「基幹的農業従事者数」等は、2020年の農林業センサス数値となっています。

次に2ページから5ページの「Ⅱ最適化活動の実施状況」にていてです。

まず、「1最適化活動の成果目標」の「(1)農地の集積」についてですが、2ページ中段の「③実績」をご覧ください。

令和6年度の担い手が新規集積した農地の面積は28.0ヘクタールで、担い手の市内における集積面積は246.2ヘクタールとなり、集積率は7.2%でした。

農地の集積については、目標の集積率の11.1%は下回りましたが、農地利用最適化推進委員を中心に農地の利用集積に努め、一定の実績はあがりました。

次に「(2)遊休農地の発生防止・解消」についてです。

遊休農地については、営農再開や保全管理により解消された農地がある一方で、新たな遊休農地も確認されています。

3ページ上段の「③実績」をご覧ください。

遊休農地のうち、比較的荒廃程度の軽い緑区分の解消実績面積は19.5ヘクタールでした。

続いて同ページ下段の「④その他」には、令和6年度に実施した農地の利用状況調査の実施状況について記載しています。

農地の利用状況調査等については、概ね計画どおりに活動を実施しました。また、令和6年度は、衛星画像データのAI解析による遊休農地判定の導入をし、前年度に引き続きタブレット端末を活用した調査を行い、積極的に遊休農地の把握に努めました。

次に3ページ下段から4ページ上段の「(3)新規参入の促進」です。

新規参入については、新規参入者や借受希望者に対し、随時農地の情報提供や斡旋等を行ってきています。

4ページ上段の「③実績」をご覧ください。

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積については、目標面積の7.1ヘクタールに対し、実績は4.1ヘクタールで目標達成状況は57.7パーセントでした。

次に、4ページ中段から5ページにかけての「2最適化活動の活動目標」についてです。

目標として「推進委員等が最適化活動を行う日数」については、1人当たりの月活動日数を6日、また「活動強化月間」は集積を進める利用権設定等の受付時期を中心に年4回と定めていました。

強化月間については、目標どおりに4回実施し、この間に担い手への農地集積のために利用権設定及び中間管理事業の推進等を図りました。

また、5ページ下段の評語についてです。

農業委員会の目標の達成状況の評語については、成果目標に対する達成状況と活動目標に対する達成状況を点数化した結果、該当する所定の評語「目標に対して期待どおりの結果が得られた」となりました。

また、「推進委員等の点検・評価結果」の評語については、成果目標に対する達成状況と委員のみなさまから報告いただいた活動記録からの1年間の活動日数実績を点数化して該当する所定の評語の集計となっています。

「目標に対し期待を上回る結果が得られた」が44人、「目標に対して期待どおりの結果が得られた」が1人となりました。

次の6ページには、事務の実施状況について記載されています。

「1総会、部会の開催実績」は、毎月末に総会を開催し、委員改選による総会を含めて年間の開催は13回でした。

次の「2農地法第3条に基づく許可事務」の処理件数は305件、「3農地転用に関する事務」の処理件数は183件でした。

また、「4違反転用への対応」について、違反転用者に対し適正な手続き等をするよう指導した結果、解消面積は2.1ヘクタールとなりました。説明は以上です。

議長

これより質疑にはいりません。

ただいまの説明について、発言のある方は挙手をお願いします。

委員

— 質問等なし —

議 長	<p>質問等もないようですので、採決します。</p> <p>議案第5号について、原案のとおり承認することに賛成の方は挙手をお願いします。</p>
委 員	<p>— 全 員 挙 手 —</p>
議 長	<p>全員挙手により、議案第5号は原案のとおり承認されました。</p>
議 長	<p>次に、議案第6号「2025年度（令和7年度）福山市農業委員会活動計画（案）について」を上程します。</p> <p>事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>資料「2025年度（令和7年度）福山市農業委員会活動計画（案）」をご覧ください。</p> <p>まず、組織活動として、総会については、毎月末に開催をすることとして計12回を予定しています。</p> <p>総会では、農地の権利移動や転用の許可案件以外の案件として、6月と12月に「農業振興地域整備計画変更の諮問に対する答申について」を議題とする予定です。</p> <p>総会に諮る議題や協議事項がありましたら別途議案を追加することになりますのでよろしくお願いします。</p> <p>次に、農地調整協議会についてです。</p> <p>農地法その他の関係事項についての申請案件等は、市内5地区の農地調整協議会を経て総会で審議されることとなるため、毎月25日を中心に開催することとしています。</p> <p>また、役員会については、4月と8月、研修については、全体研修を7月と1月に、視察研修を11月に、また、推進委員を対象としたタブレット研修を別途計画しています。</p> <p>次に、農地利用状況調査への取り組みです。</p> <p>本年度についても、8月から10月にかけて、農地利用最適化推進委員を中心に遊休農地等の調査を実施予定としています。</p> <p>次に、最適化活動強化月間についてです。</p>

中間管理事業の取りまとめの月である4月、9月、1月とその前月の2ヶ月間を最適化活動強化月間と定め、取り組みの推進をするものです。

次に、今年度から新たに地域計画にかかる農地所有者等の意向確認について、農地パトロール前の7月を強化月間としています。

これは、例年、農地の利用意向調査を年間通じて取り組んでいただき、その結果を遊休農地解消や農地の有効利用に役立ててきましたが、本市におきましても地域計画が2025年（令和7年）3月に策定されたことにより、改めて活動計画の項目とさせていただきます。

この地域計画については、策定して完了というものではなく、随時変更されていくものとなっています。

別途資料「地域計画マニュアル」3ページをご参照ください。

農業委員会は、地域計画を変更していくための重要な要素である目標地図をブラッシュアップしていくことと農林水産省が定めています。

このため、新たに強化月間を定めて、目標地図作成のための農地所有者等の意向確認について、推進委員を中心に行っていただくことを計画いたしました。

今後、意向確認の具体的な方法などについては、改めて総会でお諮りする予定としています。

最後にその他の活動として、農業者年金相談活動や全国農業新聞新規購読の推進について随時取り組んでいく計画としています。

説明は以上です。

議長

これより質疑に入ります。

ただいまの2025年度（令和7年度）委員会活動計画（案）説明について、発言のある方は挙手をお願いします。

委員

— 質問等なし —

議長

質問等がないようですので、採決します。

議案第6号について、原案のとおり承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

委員	— 全 員 挙 手 —
議長	全員挙手により、議案第6号は原案のとおり承認されました。
議長	次に、議案第7号「令和7年度最適化活動の目標の設定等（案）について」を上程します。 事務局より説明してください。
事務局	資料別紙様式1の「令和7年度最適化活動の目標の設定等」をご覧ください。 まず、資料の訂正をお願いします。1ページ下段の耕地面積の畑欄について、1,790ヘクタールとなっているところ、1,470ヘクタールに訂正をお願いします。 それでは説明に入らせていただきます。 農業委員会は、農林水産省経営局長通知の「農業委員会による最適化活動の推進等について」により、毎年度最適化活動の成果目標と活動目標を設定し、公表することとされています。 1ページには、農業委員会の状況として、1で令和7年4月1日現在の農業委員会の現在の体制等、2では、市内の農家・農地等の状況を記載しています。 2ページから3ページをご覧ください。 成果目標として「(1)農地の集積」、「(2)遊休農地の解消」、「(3)新規参入の促進」と3つ目標を設定しています。 2ページ上段の「(1)農地の集積」ですが、現在、市内における担い手の集積面積は246ヘクタール、集積率は7.3パーセントとなっています。 本市では、令和12年度までに集積率を27.6パーセントにする長期目標があり、その達成のためには令和7年度に97ヘクタールの新規集積が必要となります。 次に「(2)遊休農地の解消」について、現況の1号遊休農地は453ヘクタールとなっており、内、比較的荒廃程度の軽い緑区分が303ヘクタール、重い黄色区分が150ヘクタールです。 今年度の解消目標については、緑区分が2ヘクタール、黄色区分は地域計

	<p>画を策定する中で有効的な土地利用の方法を検討するとしています。</p> <p>3 ページ上段の「(3) 新規参入の促進」の令和6年度実績は106経営体で集積面積が10.4ヘクタールでした。</p> <p>この新規参入者への過去3年間の権利移動面積の平均の1割を「新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地」の目標として6.7ヘクタールとします。</p> <p>次に3 ページ中段からの「2 最適化活動の活動目標」については、(1)の最適化活動を行う活動日数を1カ月あたり8日、強化月間は中間管理事業の設定等の受付期と7月の農地所有者等への意向確認を当てています。</p> <p>また、今年度も県が主催する新規就農相談会へ参加することとしています。説明は以上です。</p>
議長	<p>これより質疑に入ります。</p> <p>ただいまの説明について、発言のある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>— 質問等なし —</p>
事務局長	<p>質問等がないようですので、採決します。</p> <p>議案第7号について、原案のとおり承認することに賛成の方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>— 全員挙手 —</p>
議長	<p>全員挙手により、議案第7号は原案のとおり承認します。</p>
議長	<p>次に、報告事項の「農地法等に関わる専決処分・届出等について」を事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>専決処分及び届出等について、ご説明します。</p> <p>議案書（別冊）の10ページから16ページの「農地法第3条の3第1項の規定による届出について」です。これは、相続などにより農地の権利を取得した場合の届出です。農業委員会処務規則第6条の2第1項の規定により、</p>

28件を事務局長専決で受理しました。

次に、17ページの「農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書の受理について」及び、18ページから25ページの「農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書の受理について」です。

4条7件、5条36件を農業委員会処務規則第6条の2第1項の規定により、事務局長専決で受理しました。

次に、26ページの「農地転用(農業用施設)届出書の受理について」です。農地法施行規則第29条第1項第1号の規定により、転用目的が農業用施設であり、かつ転用面積が2アール未満の場合、農地法第4条の「農地の転用の制限」の例外規定の適用を受けられます。1件の届出があり、現地確認の結果、農機具倉庫であることを確認しました。

次に、27ページから28ページの「農地法第18条第6項の規定による合意解約の通知について」です。賃貸借を解約したことの通知が9件ありました。

次に、29ページの「農地等の現況に係る照会に対する調査結果について」です。

広島法務局福山支局から2件の照会があり、調査の結果、農地性がないことを確認しました。

回答期限が照会のあった日から2週間であり、事務局長による専決処分により回答しました。

次に、30ページの「農地法の規定による許可又は届出の取消し・申請取下げについて」です。許可又は届出の受理後、何らかの事情により履行できなかったことから提出されたものであり、取消し2件を受理しました。

専決処分及び届出等については以上です。

議長

ただいまの説明について、発言のある方は挙手をお願いします。

委員

— 質問等なし —

議長

発言等もないようですので次に、「2024年度(令和6年度)農業委員会互助会収支決算報告」について、事務局から説明してください。

事務局	<p>「2024年度（令和6年度）農業委員会互助会収支決算報告について」を説明します。</p> <p>お配りしている資料「2024年度（令和6年度）農業委員会互助会収支決算書」をご覧ください。</p> <p>収入金額については、前年度繰越金が103,536円、年会費について90,000円、全国農業新聞普及助成金が5,000円、視察研修残金、利息を合わせた合計が204,482円でした。</p> <p>支出金額について、弔慰金・弔電の支出は無く、見舞金が5,000円、任期満了清算金が96,800円、新年会助成が27,000円、諸費が2,090円で合計が130,890円でした。</p> <p>収入金額と支出金額の差し引き額の73,592円が次年度繰越金となっています。</p> <p>この2024年度（令和6年度）の互助会収支決算については、谷本会長に2025年（令和7年）4月7日付で通帳等の監査をいただいています。説明は以上です。</p>
議長	<p>ただいまの説明について、発言のある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>— 質問等なし —</p>
議長	<p>発言等もないようですので、以上をもちまして2025年（令和7年）第4回福山市農業委員会総会を終了します。</p> <p>皆様お疲れ様でした。</p>
事務局	<p>委員の皆様には、慎重なるご審議をいただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして総会を終了します。お気をつけてお帰りください。</p>

午前11時00分閉会